



SHIBUYA GREEN SHIFT PROJECT



日時

5月12日 月

17:00→19:00

会場

ダイキン工業東京支社

東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー 37階

2025/05/12

グリーンシフトフォーラム テーマ未来へ繋ぐグリーンシフトアクション「レポート」

SESSION 1

『未来の都市環境を創造するグリーンシフトアクション』

今佐和子 | 国土交通省 都市局都市環境課 課長補佐

香川謙吉 | ダイキン工業株式会社 常務執行役員

佐座槇苗 | 一般社団法人SWITCH 代表理事

小泉秀樹 | 一般社団法人渋谷未来デザイン代表理事 / 東京大学工学系研究科 教授

SESSION 2

『リジェネラティブ・スマートシティの実現を加速する』

水出喜太郎 | 株式会社日建設計常務執行役員 エンジニアリング部門統括

芹澤孝悦 | プランティオ株式会社 代表取締役CEO

松田哲 | ダイキン工業株式会社 空調営業本部 副本部長

金山淳吾 | 一般財団法人 渋谷区観光協会 代表理事 /
一般社団法人渋谷未来デザイン ジェネラルプロデューサー



**SHIBUYA
GREEN SHIFT
PROJECT**

セッション①未来の都市環境を創造するグリーンシフトアクション

1. ウォークアブル政策とグローバルなコンテクスト

国交省が実践する「ウォークアブル政策」は、都市空間を人中心に変換し、住みやすい街を目指す。地球温暖化を背景に、国と企業が協力して速やかな環境改善策を進める必要性を議論。

2. 国と民間の協力と環境都市作りの橋渡し

緑地法改正の「つなぐ認定」制度など、都市緑化に取り組む枠組がある。しかし、環境専門家と都市作りの専門家の連携には課題があり、このギャップを埋める橋渡しが求められている。

3. 空気の価値化、自然の役割と科学的データ活用

ダイキン工業の空気価値化は、自然の空気浄化能力を活用しつつ、センサーを用いたデータ収集がプロセスを支える。環境へのインパクトが科学的に判断され、持続可能な都市作りが可能。

4. 環境変革の学習、ストーリーテリングと若い世代の期待

環境を軸にした都市変革では、海外の成功例からの学びが重要です。日本での応用にはストーリーテリングが鍵。科学的データを基に未来世代が具体的行動を取ることを期待。

セッション②「リジェネラティブスマートシティの実現を加速する！」

1. 質の高い緑化とジェネラティブなグリーンの重要性

都市環境における緑化は、割合を増やすだけでなく、質を向上させることが重要。特に自生可能な植物を取り入れ、人間と都市の健康を促進するエディブル・グリーンに注目。

2. コミュニティ農園とアーバンファームの推進

コスト面で課題がある緑化を、地域住民が参加しやすいコミュニティ農園やアーバンファームで乗り越え、地域全体での協力体制を築くことが求められています。

3. 海外の事例から学び、ポリシーと行政の関与の必要性

シンガポールのような成功事例を参考に、都市緑化の効果的な戦略を模索します。そのためには行政の支援と政策緩和が重要な役割を果たします。

4. コストとビジネスモデルの構築し都市全体の価値を高めることを目指す。

都市緑化による不動産価値の向上を図るため、見える化をビジネスモデルを構築。